



一中だより

12月号
令和5年12月4日
小平市立小平第一中学校

■一人一人に適切な支援を～自閉症・情緒障害学級について

校長 栗林昭彦

昨年度文部科学省が全国規模で実施した調査の結果はショッキングなものでした。全国の小中学校で「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童・生徒の割合が全体の8.8%もあったということです。単純に小平一中にあてはめると、およそ42名。1クラスの人数を上回る生徒が「著しい困難」を抱えているということになってしまいます。小平市では、現在このような困難がある生徒の多くは「特別支援教室」（本校で言えば一橋学級）で学習をしています。とはいえ本校でも、現在一橋学級を通級で利用している生徒は20名を下回っていますので、先の「8.8%」を考えると、「著しい困難」がある生徒すべてに必要な支援が届いているかというと、十分ではないといえるのかもしれません。

	平成13 (2001)	平成23 (2011)	令和3 (2021)
通級指導	293	1154	5540
固定学級	18	124	455

自閉症・情緒障害学級在籍者（都）

右の表は、上記の「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」生徒のうち、通級指導学級や固定学級で特別な支援を受けている、東京都内の中学生数の推移です。20年間で通級は18倍、固定は25倍の増加です。しかしそれでも、都内の中学生数を考えると全体の2.5%に過ぎません。単純に数字で言えるものではないかもし

れませんが、東京都内でもまだ何千人という数の中学生が、「著しい困難」を抱えながら毎日の学校生活を送っているということになります。学校に来られなくなってしまう生徒たちも少なからずいるかもしれません。

小平市内にはこのような生徒たちが学習する固定の「自閉症・情緒障害学級」が設置されていませんでした。ですから困難が認められ特別な指導を希望した生徒は、先に述べた「特別支援教室」に通級し、週当たり数時間の指導を受けていました。また、中には知的障害はないけれど、通常の学級で過ごすのは難しいのではないかと判断から知的固定の学級に在籍している生徒もいます。一人一人の生徒のニーズに応じた支援をしていこうという特別支援教育の趣旨を考えると、不十分な体制です。私たちもこれまでこういう子どもたちが学ぶ場としての固定の自閉症・情緒障害学級の設置を長く働きかけてきました。

この願いがようやく叶い、6年度4月から小平第四小学校に、7年度からは小平第二中学校に固定の自閉症・情緒障害学級が開設されることになりました。少なくともこれで、自閉症や情緒障害のある生徒に対する支援の体制が整えられることとなります。小平市の教育にとっても画期的なことだといえます。

とはいえ先にも述べたように、ニーズのある生徒たちに支援がいきわたっているとは言えない状況がまだまだ続きます。困っている現状のある生徒が支援を受けることは当然の権利ですし、当たり前のことです。支援を受ける生徒の数が増え、そのための体制も整えられつつある中で、必要な生徒には必要な支援を受けさせてあげたい。それがなかなか進まない理由の一つに「特別支援教育」についての理解が十分に行きわたらないことがあります。特別支援教育をうけることが「特別」なことでないということが定着するよう、私たちももっと多くの発信をして広く知っていただく努力が必要です。

■生徒会の活動に期待！

9月に生徒会役員選挙が実施され、まもなく3か月。第76代の生徒会本部役員の皆さんの活動がいよいよ本格化しつつあります。毎年役員が選出されると、校長室で新役員の皆さんと話をさせていただきます。自分たちの代の役員は、どのような生徒会活動を進めていこうと考えているのか、その決意のほどを聞かせてもらうのが目的です。現役員の皆さんは「一中生に足りないところを補い、同時に一中生のいいところを伸ばす活動をしたい」と話してくれました。そこで「何が一中生のよいところで、それをどうやって伸ばすか」という宿題を役員の皆さんに出しました。それを受けて先日、会長の土方さんが結論をもってきてくれました。いわく、「一中生のよいところはいろいろあるけれど、読書に力をいれているのが一中の特徴です。だから生徒会として図書委員会と連携して一層の読書活動の推進をしていきたい」とのことでした。

11月27日から生徒会による読書キャンペーンが行われています。手始めに先日美術部の皆さんがデザインし、本部役員とボランティア部が協働してしおりの作成を行いました。図書室の活用の推進に活用されるのだそうです。1年生が国語の時間に作成した「まだ借りられたことのない本・ポップ」とも連携して開催しています。このキャンペーンによって、生徒の皆さんがさらに多くの本を読んでくれることを期待します。

今月6日には、毎年生徒会を中心に実施している「花いっぱいプロジェクト」も行われます。全校の有志生徒が落ち葉掃きや球根植えを行う活動です。様々な生徒会の活動に、大いに期待したいと思います。

■12月の主な予定

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	4
1	金	三者面談(3)始		○	○	○	○
2	土						
3	日						
4	月	生徒朝会(TV) 保護者会(1、I組)	保護者会	○	○	○	○
5	火	保護者会(2)		○	○	○	○
6	水	花いっぱいプロジェクト		○	○	○	○
7	木	三者面談(3)終		○	○	○	○
8	金			○	○	○	○
9	土						
10	日						
11	月	※		○	○	○	○
12	火			○	○	○	○
13	水	※		○	○	○	○
14	木	小平特支学校交流(1)		○	○	○	○
15	金	笑顔と学びの体験活動 職場体験発表会(2)		○	○	○	○
16	土						
17	日	スポーツフェスティバル(3)予備日					
18	月			○	○	○	○
19	火			○	○	○	○
20	水	職員会議		○	○	○	○

21	木			○	○	○	○
22	金	給食終 クリーンキャンペーン		○	○	○	○
23	土						
24	日	※					
25	月	終業式		×	×	×	
26	火	冬季休業日始					
27	水						
28	木	学校閉庁日					
29	金						
30	土						
31	日						
1月の予定		5(金)冬季休業日終 9(火)始業式 10(水)給食始 11(木)専門委員会 中央委員会 13(土)土曜授業日 席書会 15(月)振替休業日(1) 16(火)合同作品展始(I組) 21(日)スキー教室始(1) 22(月)学習指導要領実施状況調査(2A)始 23(火)スキー教室終(1) 24(水)振替休業日(1) 合同作品展終(I組) 26(金)27(土)都立高校推薦入試 31(水)学習指導要領実施状況調査終					

※は放課後学習教室実施予定日です。今回は3年生の数学のみになります。